令和３年度現職研修助成事業（周南市立鹿野小学校）研修概要

１　研修主題

めざす児童生徒像（小中共通）

郷土を愛し、関わりやつながりを大切にし、自らを高めていこうとする児童・生徒

令和３年度　研究主題

楽しく関わり合いながら「わかる・できる」を実感できる授業づくり ～個別最適な学びの実現と授業力の向上をめざして～

２　設定の理由

本校は、隣接する鹿野中学校と連携し、「郷土を愛し、関わりやつながりを大切にし、自らを高めていこうとする児童・生徒」を育てることを目標としている。そのために、個別の学力向上プランと、一人一台端末を中心としたICT機器を効果的に活用することにより個別最適な学びをめざす。また、中学校との合同研修を通して、来年度からスタートする「同一校舎内小中一貫独立校」として、小中一貫と独立校のハイブリットな教育への準備を進める。

３　研修内容

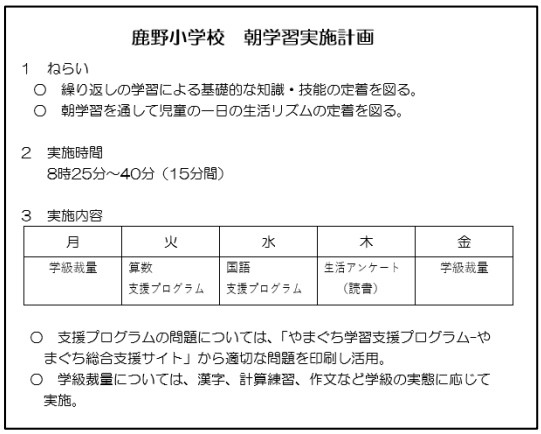
○　一人一台端末を中心としたICT機器を効果的に活用した授業づくり
　①　授業の中でICTを効果的に使用できる
　②　児童のICT活用を指導することができる
　③　児童が授業の中でICTを活用することがきる
○　小中一貫教育に向けた授業づくり
　①　小中で協働実践できる「授業フレーム」
　②　小中共通の学習ルールの確立
　③　自主学習ノートの活用

４　研修計画

	校　内　研　修	小　中　連　携
４月	21日　綱紀保持研修	
５月	19日　研修計画・方法の協議	・小中合同研修担当打合せ
６月	18日　提案授業の参観・協議	14日　小中合同研修会① ・今年度の小中合同研修について ・救急蘇生法
７月	14日　個別の学力向上プラン	７日　小中合同研修会②

	見直し・修正 26 日　ICT を活用した授業作り 27 日　人権教育の進め方	
８月	綱紀保持研修 特別支援教育・道徳教育・ 生徒指導・保健関係・研修会復伝	18 日　小中合同研修会③ ・SC による研修 ・運動会の係打ち合わせ等
９月	15 日　テーマをもとに研修 24 日　２年研究授業 29 日　４年研究授業	小中合同運動会
10 月	20 日　テーマをもとに研修	園小中合同文化祭
11 月	16 日　ふれあい２組研究授業 17 日　学力調査分析・まとめ 22 日　４年研究授業 30 日　１年研究授業	17 日　小中合同研修会④ 24 日　小中合同研修会⑤ ・学校運営協議会ユニット型研修 ・５年研究授業
12 月	個別の学力向上プラン見直し ３日　６年研究授業 10 日　３年研究授業	・小中合同研修担当打合せ
１月	26 日　テーマをもとに研修 毎週火曜日　複式・ICT 研修	
２月	ふれあい１組研究授業 校内研修の反省・まとめ 毎週火曜日　複式・ICT 研修	29 日　小中合同研修会⑥
３月	個別の学力向上プランの見直し 次年度への引き継ぎ	

5　研修の実際



鹿野小学校　朝学習実施計画

1　ねらい
- ○　繰り返しの学習による基礎的な知識・技能の定着を図る。
- ○　朝学習を通して児童の一日の生活リズムの定着を図る。

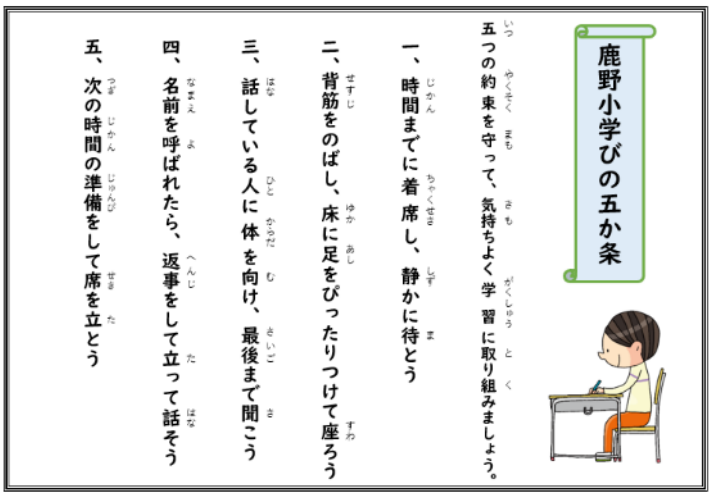
2　実施時間
8時25分～40分（15分間）

3　実施内容

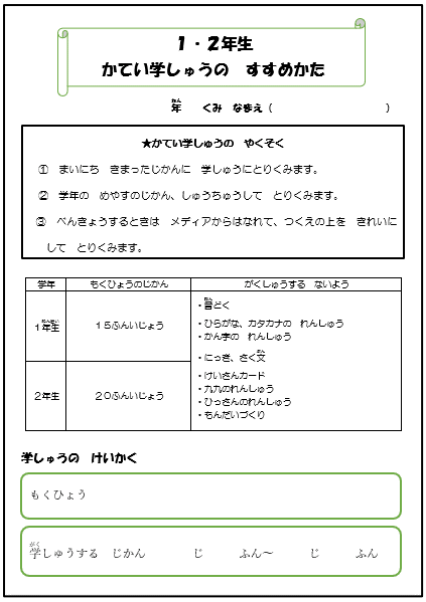
月	火	水	木	金
学級裁量	算数 支援プログラム	国語 支援プログラム	生活アンケート （読書）	学級裁量

- ○　支援プログラムの問題については、「やまぐち学習支援プログラム-やまぐち総合支援サイト」から適切な問題を印刷し活用。
- ○　学級裁量については、漢字、計算練習、作文など学級の実態に応じて実施。

朝学実施計画



鹿野小学びの五か条



1・2年生
かてい学しゅうの　すすめかた

年　くみ　なまえ（　　）

★かてい学しゅうの　やくそく

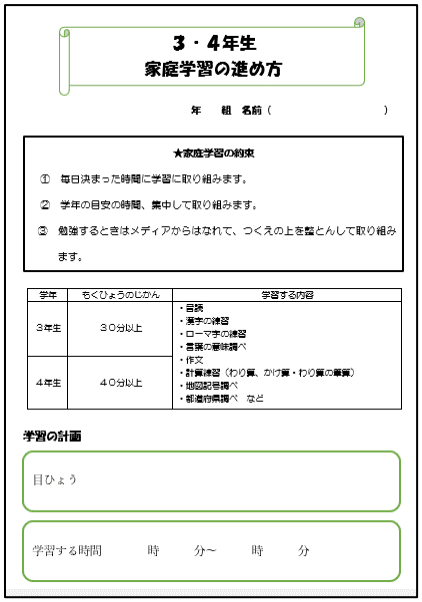
① まいにち　きまったじかんに　学しゅうにとりくみます。
② 学年の　めやすのじかん、しゅうちゅうして　とりくみます。
③ べんきょうするときは　メディアからはなれて、つくえの上を　きれいにして　とりくみます。

学年	もくひょうのじかん	がくしゅうする　ないよう
1年生	15ふんいじょう	・音どく ・ひらがな、カタカナの　れんしゅう ・かん字の　れんしゅう ・にっき、さく文
2年生	20ふんいじょう	・けいさんカード ・九九のれんしゅう ・ひっさんのれんしゅう ・もんだいづくり

学しゅうの　けいかく

もくひょう

学しゅうする　じかん　　じ　　ふん～　　じ　　ふん



3・4年生
家庭学習の進め方

年　組　名前（　　）

★家庭学習の約束

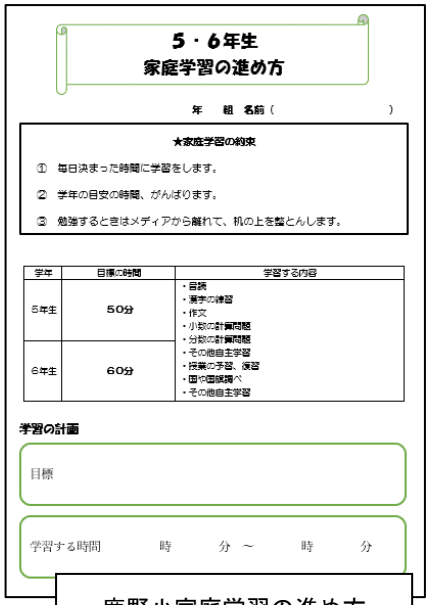
① 毎日決まった時間に学習に取り組みます。
② 学年の目安の時間、集中して取り組みます。
③ 勉強するときはメディアからはなれて、つくえの上を整とんして取り組みます。

学年	もくひょうのじかん	学習する内容
3年生	30分以上	・音読 ・漢字の練習 ・ローマ字の練習 ・言葉の意味調べ ・作文 ・計算練習（わり算、かけ算・わり算の筆算） ・地図記号調べ ・都道府県調べ　など
4年生	40分以上	

学習の計画

目ひょう

学習する時間　　時　　分～　　時　　分



5・6年生
家庭学習の進め方

年　組　名前（　　）

★家庭学習の約束

① 毎日決まった時間に学習をします。
② 学年の目安の時間、がんばります。
③ 勉強するときはメディアから離れて、机の上を整とんします。

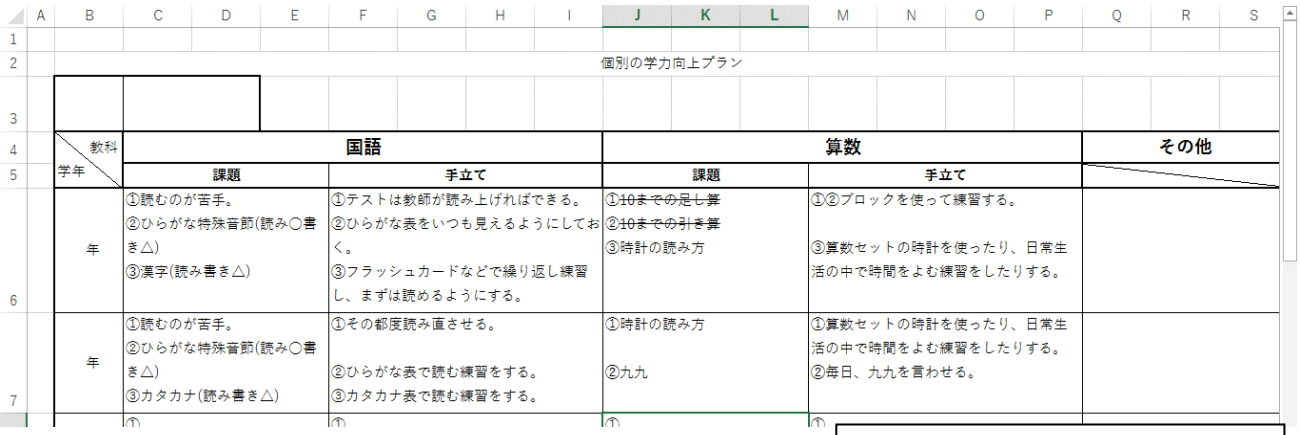
学年	目標の時間	学習する内容
5年生	50分	・音読 ・漢字の練習 ・作文 ・小数の計算問題 ・分数の計算問題 ・その他自主学習
6年生	60分	・授業の予習、復習 ・国や国旗調べ ・その他自主学習

学習の計画

目標

学習する時間　　時　　分　～　　時　　分

鹿野小家庭学習の進め方



個別の学力向上プラン

学年＼教科	国語		算数		その他
	課題	手立て	課題	手立て	
年	①読むのが苦手。 ②ひらがな特殊音節(読み○書き△) ③漢字(読み書き△)	①テストは教師が読み上げればできる。 ②ひらがな表をいつも見えるようにしておく。 ③フラッシュカードなどで繰り返し練習し、まずは読めるようにする。	①~~10までの足し算~~ ②~~10までの引き算~~ ③時計の読み方	①②ブロックを使って練習する。 ③算数セットの時計を使ったり、日常生活の中で時間をよむ練習をしたりする。	
年	①読むのが苦手。 ②ひらがな特殊音節(読み○書き△) ③カタカナ(読み書き△)	①その都度読み直させる。 ②ひらがな表で読む練習をする。 ③カタカナ表で読む練習をする。	①時計の読み方 ②九九	①算数セットの時計を使ったり、日常生活の中で時間をよむ練習をしたりする。 ②毎日、九九を言わせる。	
	①	①	①	①	

鹿野小　個別の学力向上プラン（例）

2　「授業フレーム」に沿った評価　　【良かったものに○印を付けてください。】

学習の流れ	評価項目	
導　入	魅力的な課題設定	
	全員が自分の考えをもつための入り口になる発問	
	（家庭で取り組んだ「鹿野っ子ノート」の紹介）	
展　開	ペア・グループ・全体等、説明し合う活動（話し合いの場）の工夫	
	ホワイトボード等、話し合いのためのツールの活用	
	話し合いのルール（進め方、司会の仕方等）	
	ゆさぶりのための発問	
	「聴く」ことの意識化	
	友達の考えの取り入れ	
終　末	「わかる・できる」を実感し、家庭学習や次時の学習につながるまとめ	
	疑問点やキーワード・キーセンテンス等を書き出すことによる振り返り	
	わかったこと、できるようになったことを文章化することによる振り返り	
	類似・発展問題を解くことによる振り返り	

3　導入、展開、終末で気がついたことを書いてください。

学習の流れ	評価項目	良かった点	改善点
導　入	課題との出合い		
展　開	説明し合う活動		

授業参観シート

参観者氏名〔　　〕

小学校　年　組　教科（　　）　授業者（　　）　令和3年　月　日　校時

1　授業参観の視点

2　「授業フレーム」に沿った評価　　【良かったものに○印を付けてください。】

学習の流れ	評価項目	
導　入	魅力的な課題設定	
	全員が自分の考えをもつための入り口になる発問	
	（家庭で取り組んだ「鹿野っ子ノート」の紹介）	
展　開	ペア・グループ・全体等、説明し合う活動（話し合いの場）の工夫	
	ホワイトボード等、話し合いのためのツールの活用	
	話し合いのルール（進め方、司会の仕方等）	
	ゆさぶりのための発問	
	「聴く」ことの意識化	
	友達の考えの取り入れ	
終　末	「わかる・できる」を実感し、家庭学習や次時の学習につながるまとめ	
	疑問点やキーワード・キーセンテンス等を書き出すことによる振り返り	
	わかったこと、できるようになったことを文章化することによる振り返り	
	類似・発展問題を解くことによる振り返り	

3　導入、展開、終末で気がついたことを書いてください。

学習の流れ	評価項目	良かった点	改善点
導　入	課題との出合い		
展　開	説明し合う活動		
終　末	学びをつなげるまとめ		

4　その他、お気づきがあれば書いてください。

鹿野小中　授業参観シート

２年　体育科

６年　道徳科

ユニット型研修①　４年　国語科

ユニット型研修　研究協議

ユニット型研修②　５年　鹿野学

小中合同研修会

６　考察

個別の学力向上プランに基づく少人数指導により個に応じた指導が可能となったが、個別の支援過多にならないよう留意し、自主性を育てながら個別最適な学びをめざしていきたい。また、ICT に児童も教師も慣れてきたので、周南市の実践事例を参考にしながら実践研究を継続し、めあての達成や学力向上に役立つ手段として活用していきたい。そして来年度は、小中学校が同一校舎になることでさらに連携を深め、基礎学力の徹底を図ると共に、児童生徒の課題である読解力と表現力に焦点を当てた授業研究を行っていきたい。